



写真：HASEO 会員

作品検討会

今大会も、web 上での事前データジャッジと大会当日のプリントジャッジの両方を行います。

皆様には、お忙しい中申し訳ありませんが、8月11日までにデータをDropBoxにアップロードいただき、当日はプリントを提出をさせていただきます様、よろしくお願い致します。

今大会は、学生さんにも作品を出して頂いて大会当日は合同作品検討会を行います。

作品検討会担当副会長 原田 辰之
作品検討委員会委員長 仲嶺 真弥

参加費

会員	年会費から充当
学生	無料
同伴	20,000
会友	15,000
聴講者	50,000
シニア会員・メーカー商社	30,000
報道 (1名無料)	10,000
展示ブース	20,000

1、作品提出 (データ)

提出期間 : 8月1日~11日
 テーマ : 「人物が入った作品」(人物が入っていればOK)
 点数 : 一人2作品まで
 サイズ : 長辺2,000ピクセルのjpeg画像
 ファイル名 : 「ローマ字名前_番記.jpeg」
 例 (nakamine_01.jpeg) に変更してください。

提出先 : PAJの「DropBox」
<https://www.dropbox.com/request/b6lyWOPuIY9TSMnVxWfb>
 ※締め切り厳守です。締め切り以降は受け付けません。

2、作品審査

期間 : 8月19日~26日
 Googleフォームにて審査をしていただきます。
 審査用GoogleフォームURLはPAJのフェイスブックページにてご案内いたします。
 2つのカテゴリに対して10点満点で評価してください。
 ・芸術点 (ビジョン、インパクト等)
 ・技術点 (構図、ライティング等)
 ※詳しくはPAJのフェイスブックページにてご案内致します。

3、大会当日にプリントを持参して下さい。大会中にプリントジャッジを行います。

プリントサイズ (作品提示用) 六切
 ※作品の裏に両面テープを貼っておいて下さい。台紙はこちらで準備致します。

4、大会当日 (9月6日) はプリントで学生さんとの合同作品検討会を行います

- 注意事項 1、応募作品は、一般に公開しないようにお願いします。
 2、録画、写真撮影は、禁じます。
 3、写真は個人情報です。作品の取り扱いには十分ご注意下さい。

PAJ

Envisioning the Future

ポートレートアカデミーオブジャパン
第127回研究大会

日時 : 2023年9月6日(水)~7日(木)
 場所 : 東京工芸大学 中野キャンパス

写真教育論!
 ~新たな時代に写真の本質を伝える~



表紙写真 新田 樹氏

東京工芸大学



中野キャンパス
 GoogleMap



吉野弘章学長
 特別レクチャー
 参加申し込み



作品検討会
 アップロード
 DropBox



大会
 参加申し込み



基調講演

写真教育と 創立100周年を迎えた 東京工芸大学

吉野 弘章 学長





2023年、東京工芸大学は創立100周年を迎えました。1923年に創立した同学は、日本で初めての写真の専門高等教育機関として出発しています。同学の創立当時、写真はテクノロジーとアートが融合した最先端のメディアでした。その写真の教育と研究を原点として、現在の東京工芸大学は、工学部と芸術学部という2つの学部からなる特色ある総合大学へと発展しています。

今回の講演では、創立時より営業写真業界と密接に関わりのある東京工芸大学と写真教育の歴史から、現代社会における写真の位置や写真教育の意義などをテーマに語っていただきます。

プロフィール
吉野 弘章 (よしの ひろあき) 学長
1965年東京生まれ。東京工芸大学大学院芸術学研究科博士前期課程メディアアート専攻修了。
1980年代より写真専門ギャラリーで写真展の企画、作家マネージメント、写真作品のディーリングに携わる。
2003年にアートとしての写真のマーケットについての研究で日本写真協会新人賞、日本写真芸術学会賞を受賞。専門はアート・マーケット、写真編集、エキシビション・デザインなど。土門拳や森山大道など、国内外の写真家の1万点以上のオリジナルプリントを所蔵する東京工芸大学写大ギャラリーのディレクター(運営委員長)を2013年度から2019年度まで務める。2015年度より東京工芸大学芸術学部長を経て、2020年度より同大学学長。現在、日本写真協会副会長、日本写真家協会日本写真保存センター諮問委員、日本広告写真家協会相談役などを務める。

挨拶

堀 光治 会長



前回の大会に引き続き、写真館における「教育」、今回は特に高等専門教育をテーマとします。会場は、日本で最初の写真専門の高等教育機関「東京工芸大学」。会員みなさんにとって、馴染み深い学校であるに違いありません。東京工芸大学は、今年創立100周年という記念すべき年を迎えています。PAJの研究大会を、この年にこの地で開催することに大きな意義を感じます。

この機会に、写真師の先達の功績を偲ぶとともに、これからの写真館業界のあり方を構想してみようと思います。初日は、吉野弘章学長による基調講演。続いて、今年度木村伊兵衛写真賞と林忠彦賞とをダブル受賞した新田樹氏の講演。そして、次世代を担う写真学科肖像写真研究室の学生との合同作品検討会を行います。2日目はPAJ会員が、アート・作画・経営・AI活用などについての発表を行います。盛りだくさんの二日間。皆さんの出席を心からお待ちしております。

9月6日(水)	10:30 特別レクチャー：オリジナルプリントにおけるプリント技法あれこれ 吉野 弘章 学長
	※会員限定、先着10名 別途申込みが必要となります。 昼食は含まれておりません。(詳細は別紙参照)
	12:30 受付開始
	13:00 開会・会長挨拶 堀 光治 会長
	13:05 会務報告 木立 泰史 副会長
	13:10 オプザーバー・メーカー商社紹介
	13:20 基調講演 東京工芸大学 吉野 弘章 学長
	14:20 休憩・ブース見学
	14:40 講演 新田 樹 氏
	16:10 休憩・ブース見学
	16:30 作品検討会 作品検討会担当副会長 原田 辰之 会員 作品検討委員会委員長 仲嶺 真弥 会員
	18:30 バスにて懇親会場へ移動
	19:20 懇親会

9月7日(木)	09:00 会員会議 全会員
	10:00 会員発表1 森藤 ヒサシ 会員
	10:30 会員発表2 屋宜 賢 会員
	11:00 特別プログラム 堀 光治 会長・中嶋 秀磨 会員
	12:00 昼食
	13:00 会員発表3 河村 優子 会員
	13:30 会員発表4 薄田 和輝 会員
	14:00 会員発表5 木立 泰史 会員
	14:30 休憩・ブース見学
	14:50 メーカー商社発表1 キヤノン
	15:10 メーカー商社発表2 ソニー
	15:30 メーカー商社発表3 富士フィルム
	15:50 全てのプログラム終了

講演

ポートレート・ 自らをうつす鏡

新田 樹 氏




「ポートレート・自らをうつす鏡」
私がポートレートをこのようにとらえるようになった経緯が、14年後再び私をサハリンへ向かわせた事につながっているように思います。すべてをこのひと言に添わせることはできないとは思いますが、私が写真を考えるとき、その底に流れるものだと考えています。

プロフィール
新田 樹 (にった たつる) 氏
1967年 福島県出身
東京工芸大学工学部卒業後、麻布スタジオを経て半沢克夫氏に師事
1996年 独立
2023年 木村伊兵衛写真賞・林忠彦賞をダブル受賞

個展
2003年 「SURUMA」(コニカプラザ)
2007年 「樹木の相貌」(コニカミノルタプラザ)
2015年 「サハリン」(ニコンサロン)
2018年 「RUSSIA～CAUCASUS 1996-2006」(zakura)
2022年 「続サハリン」(ニコンサロン)
2023年 「Sakhalin 2010～2018」(古書ほうろう)
「Sakhalin」(フジフィルムフォトサロン、周南市美術博物館)
「Sakhalin (サハリン)」(ソニーイメージングギャラリー銀座)

出版
2022年 「Sakhalin」(ミーシャズプレス)
<https://tatsuru-nitta.wixsite.com/my-site-2>



新たなコンセプトのスタジオ

森藤 ヒサシ 会員



なぜ世間では、写真館で撮影してる人が減り、出張でカメラマンに頼む人が増えているのか？そもそも、写真館と出張カメラマンの違いが、一般の人に伝わっているのか？アマチュアからプロまで垣根を越えた新たな枠組みへの取り組みと森藤ヒサシの新たなコンセプトのスタジオづくりについて発表します。

写真の可能性を拡張 表現研究とブレンドモードの融合

屋宜 賢 会員



ストレート写真とは一線を画し、イラスト風の表現に挑む、表現研究の一端をご覧ください。

創造と収益の融合 生成AIがクリエイターと経営者の舞台を変える

堀 光治 会長・中嶋 秀磨 会員



最近巷で話題のChatGPTをはじめとする生成AI。産業革命やインターネット革命よりずっと大きなものになると言われています。今後写真館の世界においても大きな変化をもたらすはずですが、今回、クリエイティブ部門と経営部門への影響について考察し、どのように対処すべきかいくつかのポイントを提示しながら皆で議論し、来るべき未来への羅針盤を組み上げましょう。

令和女子が喜ぶ振袖撮影

河村 優子 会員



SNSで自由に自分を表現し発信する令和女子達。価値観が変化し多様化していくこの時代で、写真館プライムとしての根底にある不変の想いと、表現として変化させているものをお伝えしたいと思います！

地域の未来をデザインする 写真館による地域プロモーションの可能性

薄田 和輝 会員



写真・映像を活かした地域プロモーションとは何か。地域の魅力・独自性を強調し、観光や経済活性化につなげるための具体的な手法や成功事例、地域プロモーションの可能性を発表します。

世界を旅する ドキュメンタリーポートレート

木立 泰史 会員



ポートレートを世界へ届けるプロジェクト～Love Portraits Project～を発表します。世界中で“ドキュメンタリーポートレート”という切り口で、多種多様な価値観、生活スタイルの人々を撮影し、その先にどんな素晴らしい出会いが待っているのか、旅する実験的なプロジェクトです。